

赤碕駅の活用について一緒に考えるワークショップ
(2022/12/4、分庁舎多目的ホール)

問題提起 「駅の現状と活用の事例」

米子工業高等専門学校 加藤博和

(琴浦町地域交通再編計画検討委員会 座長)

『JR西日本グループ中期経営計画2022』（2018年4月）

（出典）JR西日本グループ中期経営計画2022 (westjr.co.jp)

03.

設備投資計画

01. 總結と憲法で、
めざす未来へ

02. JR西日本グループ
中期経営計画2022

03. 設備投資計画

04. 目標指標

成長と鉄道サービス向上に向けた主な設備投資

1. 鉄道ネットワークの強化・充実

●北陸新幹線のネットワーク拡大

- ・北陸新幹線金沢～敦賀間を開業します。(2023年春)



●大阪エリアのネットワークの拡充

- ・おおさか東線北区分間(新大阪～放出間)を開業します。(2019年春)
- ・うめきた(大阪)地下駅を開業し、うめきたエリアから関西国際空港へのアクセス強化を図ります。(2023年春)
- ・さらに、なにわ筋線の整備を推進します。(2031年春目標)

●京都を中心としたネットワークの強化

- ・嵯峨野線京都～丹波口間に新駅を開業します。(2019年春)
- ・奈良線京都～城陽間の完全複線化および山城多賀～玉水間の複線化を行います。(2023年春)

3. 新しい技術の活用による生産性の向上

●メンテナンスの省力化

- ・新たな保守用作業車の導入による作業の機械化等の取り組みを推進し、効率的なメンテナンス体制を構築します。



●地上設備のシンプル化

- ・電車線設備のハイパー架線化や駅設備のシンプル化を推進し、将来のメンテナンスコストの削減を図ります。

●安全で持続可能な鉄道サービスへの変革

- ・きつぷ購入のセルフ化促進に向けた駅体制構築や、ワンマン運転化を推進します。

2. ご利用しやすい鉄道サービスの提供

●ICカードの利便性向上

- ・ICOCAがご利用できるエリアを拡大します。
- ・ICOCAのご利用実績に応じたポイントサービス、PiTaPaカードによるチャージ(入金)不要のポストペイサービスを導入します。(2018年秋)



●列車予約サービスの充実

- ・インターネット予約のさらなる充実(法人や訪日のお客様の利便性向上)を図ります。(2018年度中)

●多様なニーズに応える駅・車両の展開

- ・高齢者や訪日のお客様の増加等に応じて、国や自治体と連携してバリアフリー化を推進します。(原則として乗降3千人以上の駅に2020年までに整備)
- ・気軽に鉄道の旅を楽しんでいただける新たな長距離列車や、着席ニーズにお応える車両をさらに導入します。

4. 創造事業の強化・拡大

●駅からはじまるまちづくりの推進

- ・「大阪」「三ノ宮」「広島」の大規模拠点駅の開発を推進します。(2023年度以降開業)
- ・駅周辺の再開発事業への参画を含め、沿線のまちづくりを推進します。
- ・京都駅商業施設の大規模リニューアルを実施します。(2018～2020年度)



●ニーズに応じた質の高い生活サービスの提供

- ・コンビニ、飲食店等の駅ナカ・ソトへの出店を拡大していきます。
- ・ライフサポート型SCの開発を推進します。

●複数ブランドのホテル展開

- ・ハイクラス宿泊主体型ホテル(ヴィスキオ)を複数出店(大阪・京都等)、また宿泊特化型ホテル(ヴィアイン)を積極展開します。

JR 西日本による駅舎シンプル化について - 鳥取市

(出典)

JR 西日本による駅舎シンプル化について

<https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1612429675141/files/4.pdf>

1. 対応経過

H31.3 JR 西日本から説明

- ・将来の維持管理コストの削減を図るため、駅の無人化や駅舎設備の更新など、全社的に駅の運営体制の見直しを実施していく。

[更新基準] 乗降人員 3,000 人/日未満かつ建物経年 60 年以上の駅舎 ⇒ 令和 2 年度以降 15 年かけて更新予定

[対象駅] 山陰本線：福部駅、湖山駅、宝木駅、浜村駅、青谷駅

因美線：津ノ井駅、国英駅、用瀬駅、因幡社駅

R1.10 JR 西日本との意見交換 ⇒ 山陰合同銀行（駅ナカ）の撤退に伴い、宝木駅がリストアップされる。



R2.1 気高町地域振興会議で状況説明

R2.4 JR 西日本から更新内容の提案

- ・①JR による更新及び維持管理 ②市へ無償譲渡し市による整備及び維持管理 ③JR と市の共同整備。市が維持管理。

- ・令和 2 年度中に市の対応方針を示す。

R2.8 JR 西日本から状況報告 ⇒ 新型コロナウイルスの影響で関連予算が凍結となり更新作業が遅延している。

R2.9 9 月定例会での一般質問（上杉議員）に対し、基本的な考え方を表明

[市の対応方針] 本市のファシリティマネジメントの観点から、利便性を損なわない範囲でのシンプル化はやむを得ない

[今後の対応] JR 西日本に対し、住民説明会の開催や利便性の確保に対する要請を行う

R2.10 JR 西日本に対し要望書を提出

[要望事項] ①駅利用者の利便性が低下しない計画としていただきたい

②沿線住民に対し、シンプル化の説明と情報提供を実施し、十分な理解を得ていただきたい

[回答内容] ①過大なものは提供できないが、お客様のご利用に応じたレベルの設備を提供する

②ダイヤ改正等と同様、今まで通り鉄道をご利用のお客様には、前広に周知していく

2. 今後の予定

- ・令和 2 年～3 年にかけて米子支社管内全体での調整を図りながらシンプル化の計画策定を進めていく。

- ・鳥取市内対象駅のシンプル化は、**令和 4 年度以降の実施**になる見込み。

- ・シンプル化は、**修繕が必要な駅舎を優先**に実施する。（宝木駅が初めとも限らない。）



旧駅舎



新駅舎

② 山陰線 居組駅



旧駅舎



新駅舎

③ 桜井線 香久山駅

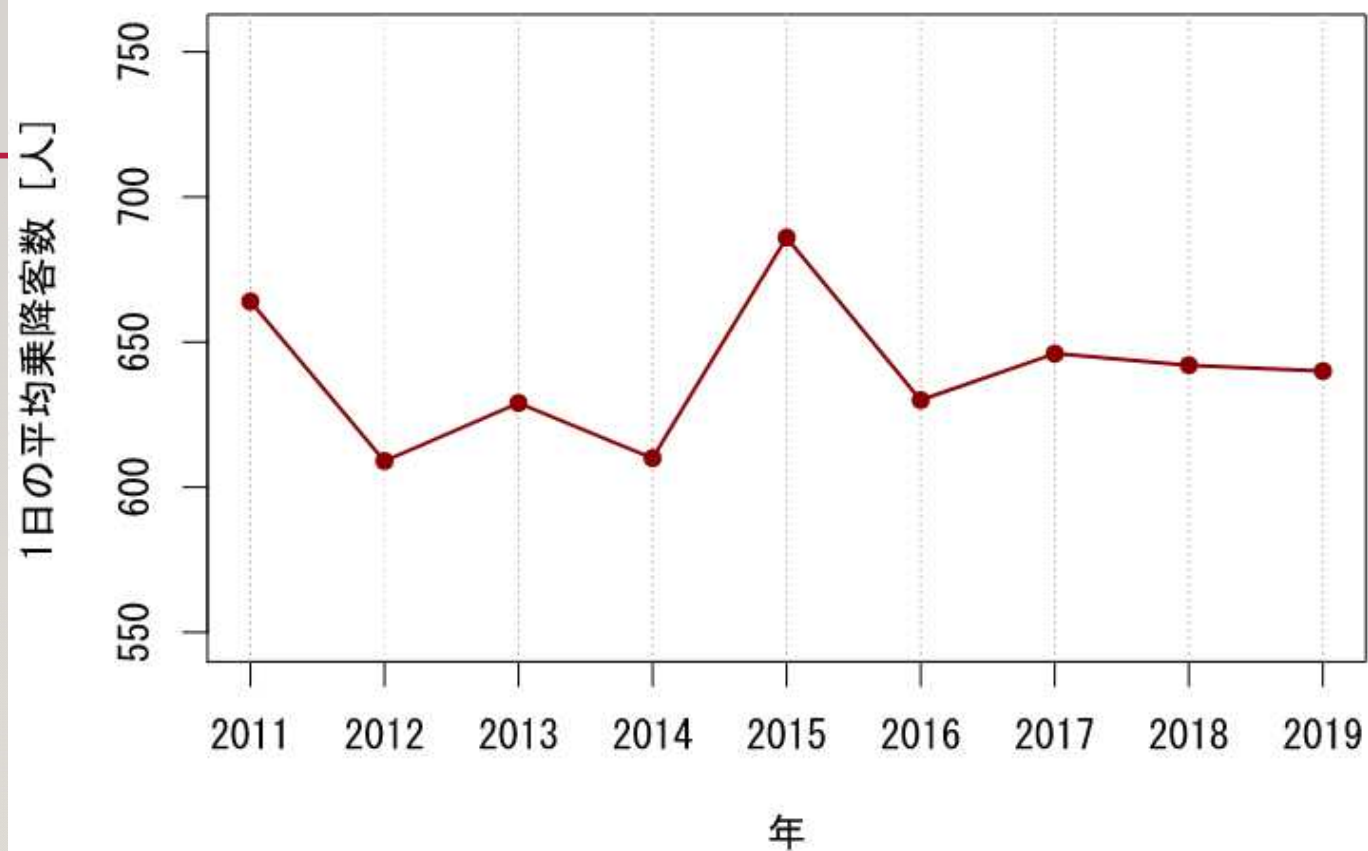


旧駅舎



新駅舎

JR西日本 赤碕駅の乗降客数の推移



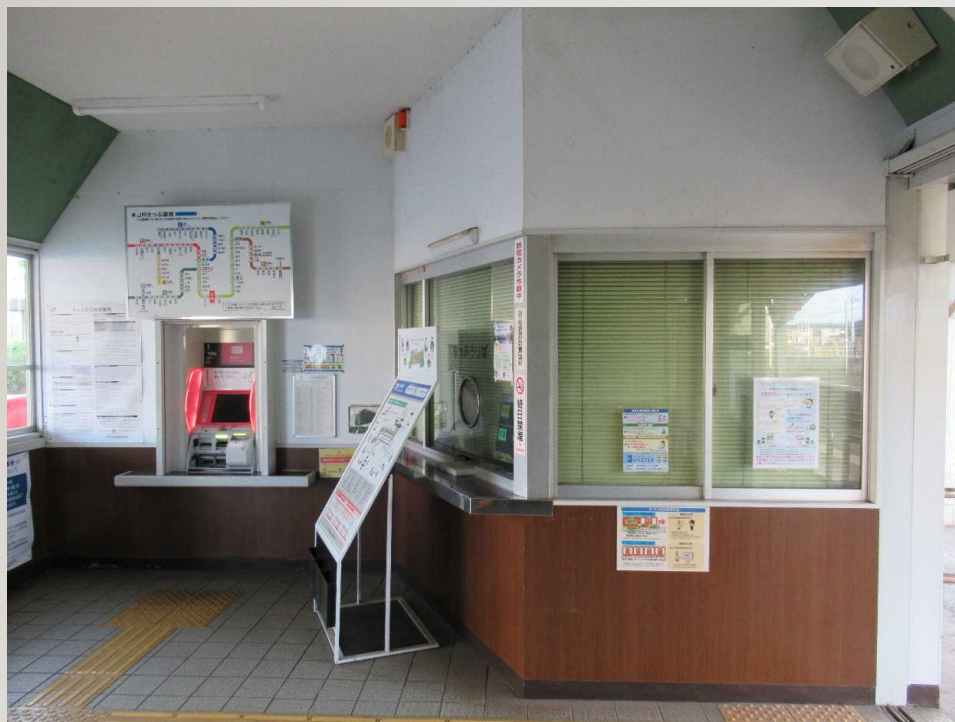
(出典)

https://statresearch.jp/traffic/train/stations/passengers_station_94_500.html

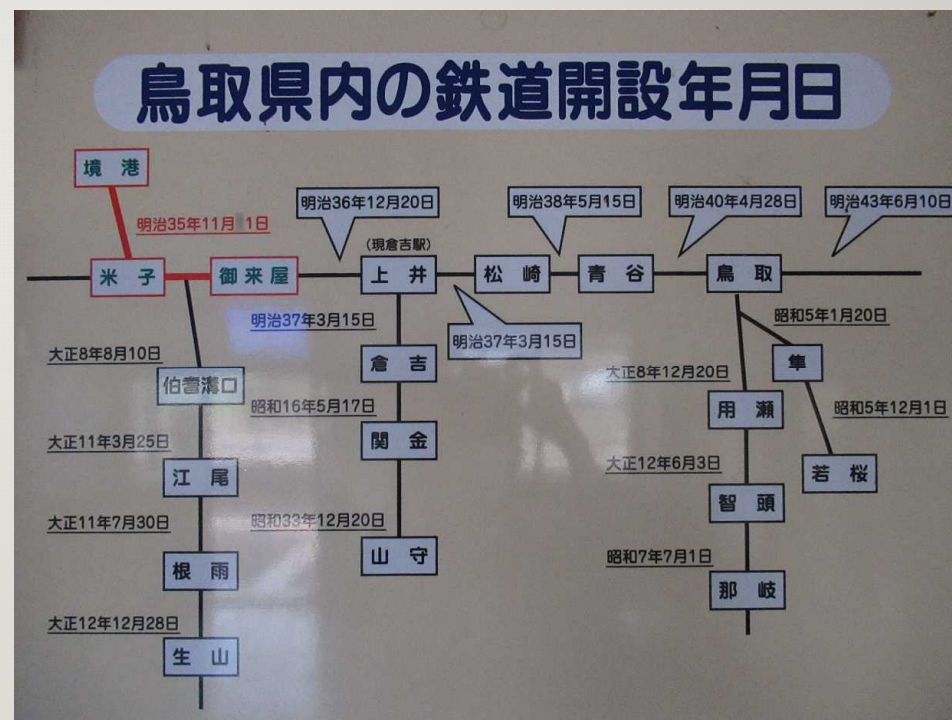
赤碕駅（平日・朝の様子）



2021年3月12日：きっぷうりばが営業終了



2023年は開業120周年



赤碕駅と公共交通機関（バス、タクシー）



下市駅（大山町）

- 駅舎の活用

→「喫茶 ニコ」が2020年8月に
開店



「喫茶ニコ」のInstagram

(出典) https://www.instagram.com/nicoz_ww/?hl=ja

nicoz_ww

フォローする

メッセージを送信

+

...

投稿112件

フォロワー608人

フォロー中54人

喫茶ニコ

喫茶店

営業時間:8:00am~15:00pm

モーニング:8:00am~11:00am

ランチ:11:00am~14:30pm

定休日:水曜日・月最終火曜日

場所:山陰本線下市駅駅舎内

※テイクアウトできます

☎0858-58-6661

nico'z社員...

ハイライト

曲 投稿

🏷 タグ付けされている人

nicoz_ww

フォローする

nicoz_ww

【12月営業予定】

営業時間
8:00am~15:00pm

定休日
水曜日、月最終火曜日

※明日11/29(火)と11/30(水)は連休です

令和4年も早くもあと1ヶ月となりました
このまま穏やかに健康に新しい年が迎えられる様にご挨拶🌱🌟

★大山町地域応援チケット⇒11/30(水)まで

★食のみやご特別応援キャンペーンお食事クーポン券
⇒12/20(火)まで

★鳥取県プレミアムクーポン券⇒12/21(水)まで

#喫茶ニコ #下市駅#無人駅#駅舎#喫茶店#大山町
#モーニング#ランチ#テイクアウト

♡ 🔍 📌

morihaha3、その他が「いいね！」しました
3日前

😊 コメントを追加...

投稿する

12 December 2022 (令和4年)

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7 休	8	9	10
11	12	13	14 休	15	16	17
18	19	20	21 休	22	23	24
25	26	27 ←	28 正月休み	29	30 1/4(水)まで →	31
1	2	3	4	5	6	7

喫茶ニコ 😊





御来屋駅（大山町）

（訪問したのは休日・午後）



営業時間9：00～13：00（日曜定休）



荒島駅（安来市）

住民組織が駅を維持管理		
快適性の 特色	市が譲り受けた駅舎を地元の任意 団体が借上げ、駅待合室(写真)を 設置し、駅とその周辺の清掃等の 維持管理を行う	
設置・運営	地元任意団体（安来市）	
備 考	荒島駅	

<https://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/suishinchousa/pdf/h13/koutsushouhisha/3.pdf>

根雨駅・黒坂駅開業100周年記念式典 (2022年10月16日、日野町文化センター)



▲駅とともに町の発展を願う討論を繰り広げる



▲愛称看板が設置された金持おしどり駅（根雨）と鏡山城駅（黒坂）

JR伯備線根雨駅黒坂駅開業100周年記念式典
根雨駅が7月30日に、黒坂駅が11月10日にそれぞれ開業100周年を迎えたことを記念し、10月16日、町文化センターで、JR伯備線根雨駅・黒坂駅開業100周年記念式典が開催されました。
式典では、日野高校郷土芸能部による荒神神楽が披露されたほか、「日野町の鉄道とまちづくりについて」と題したパネルディスカッションを実施。米子工業高等専門学校の加藤博和教授をコーディネー

ターに、5人のパネリストが、町の鉄道の歴史や、鉄道に関連したまちおこしなどについて語りました。
公募していた根雨駅と黒坂駅の愛称（副駅名称）も発表され、根雨駅は、矢部征さん（鳥取市）の「金持おしどり駅」、黒坂駅は、水谷大輔さん（上菅）の「鏡山城駅」に決定しました。受賞した矢部さんと水谷さんには、埴田町長から賞状が贈られました。愛称は、駅に看板が設置されるなど、駅

の活性化のために利用されます。
また、位置情報ゲーム「駅メモ！」シリーズのキャラクター「根雨つむぎ」の「根雨のまち観光大使」就任式も行われ、埴田町長から根雨つむぎさんに任命状が手渡されました。今後、根雨つむぎさんは根雨のまち観光大使として活動するほか、12月には町と「駅メモ！」シリーズとのコラボキャンペーンが予定されています。

歴史ある駅に思いを馳せて

根雨つむぎ「根雨のまち観光大使」就任 & 駅メモ！コラボキャンペーン開始！

町では、株式会社モバイルファクトリーが配信中の位置登録ゲーム「ステーションメモリーズ！」「駅メモ！ Our Rails」（以下「駅メモ！」シリーズ）において、根雨駅・黒坂駅開業100周年および「根雨つむぎ」の「根雨のまち観光大使」の就任を記念して、『鳥取県日野町×「駅メモ！&アワメモ！」コラボキャンペーン』を開催します。

根雨駅・黒坂駅・上菅駅および沿線の観光地を巡るデジタルスタンプラリーや、コラボグッズの販売、ノベルティの配付など、さまざまな企画を実施予定です。詳細は町ホームページ等にてお知らせします。

実施期間：12月2日（金）～令和5年3月5日（日）



「根雨のまち観光大使」根雨つむぎ

(出典) 広報ひの11月号-2.indd (town.hino.tottori.jp)

日野軍★みらい創生デザイン会議／ JR伯備線100周年記念実行委員会

- 日野郡をひとつとして、その中長期的なビジョンを構想しながら、地域づくりに汗する団体のネットワーク化を推進し、情報や意識の共有化を図りつつ、地域活性化のための新たな事業やイベントを企画提案し、運営を行っている。
- 無人駅の駅舎整備（上菅駅と上石見駅は実施済み）

（出典）About us 日野軍★みらい創生デザイン会議について - 日野郡観光ポータルサイト「ひののひ」 [hinonohi](http://hinonohi.jp)

- 黒坂駅開業100周年祝賀セレモニー
駅舎内では1日限りの「夢人駅カフェ」が開設され、懐かしい昔の写真展示や寄せ書きボードも飾られて、大いに賑わった。
- 日野軍★伯備線ファン倶楽部の発会
- 伯備線”縁”線ウォークの開催（黒坂駅～生山駅：約9km）

（出典）日野軍★伯備線ファン倶楽部 & 伯備線縁線ウォーク/とりネット/鳥取県公式サイト (tottori.lg.jp)

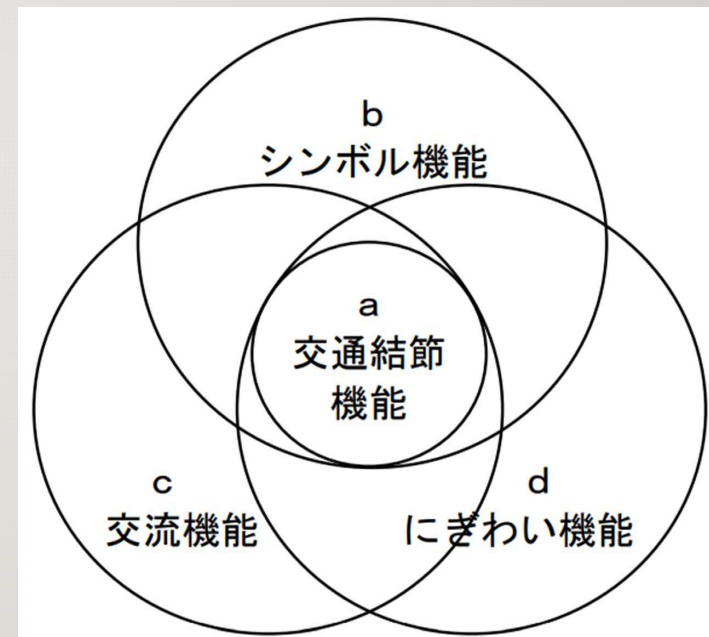
「駅・まち」の役割

- 「駅を含む周辺地区」を、人の交流を促進し、まちのにぎわいを向上させる「場所・空間」と考えることが重要である。「駅・まち」は都市に向かって開かれた、地域と一体性のある場として、ハード的視点とソフト的視点を結集させて改良や整備を推進しなければならない。
- 「駅・まち」の本来持っていた都市機能の拠点性や、都市の玄関口としてのシンボル性が、重要な役割として再び期待されている。

(出典) http://www.jtpa.or.jp/contents/ekimachi/pdf/ekimachi2011_1.pdf

「駅・まち」に求められる主な機能

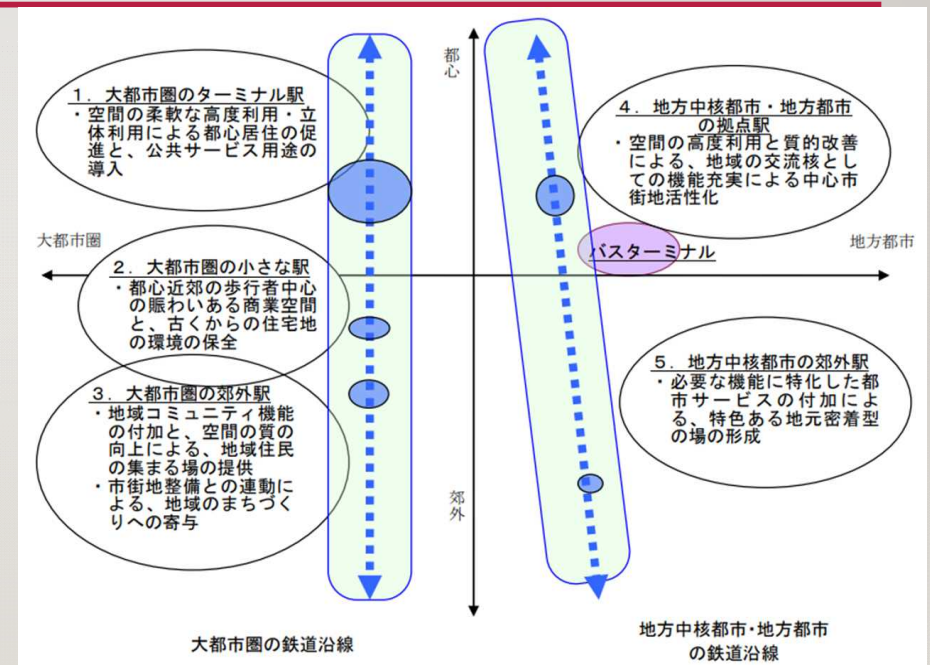
- a. **交通結節機能**（駅、交通広場など、多様な交通手段間での乗換機能）
- b. **玄関口シンボル機能**（駅舎、広場空間、モニュメントなど、都市の顔のシンボル機能）
- c. **市民交流機能**（広場、アトリウムなど、人々の集散と滞留機能）
- d. **賑わい機能**（商業、飲食、娯楽等、都市サービス・生活サポート機能と居住機能）



（出典） http://www.jtpa.or.jp/contents/ekimachi/pdf/ekimachi2011_I.pdf

「駅・まち」整備の方向性

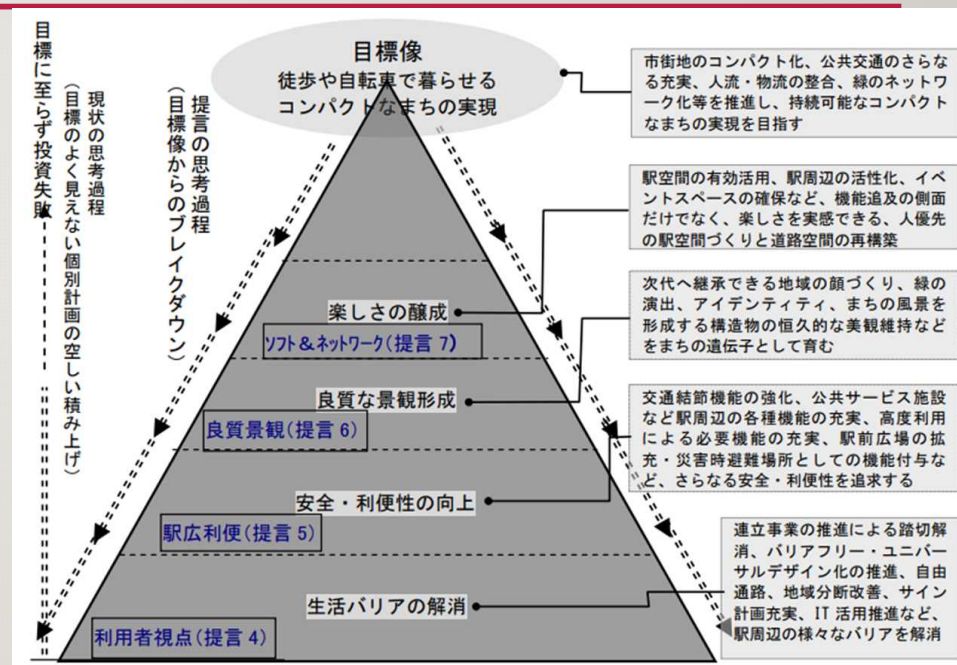
- 「駅・まち」整備の方向性は、それぞれ即地的に個別解として見出すことが必要で、一概に解答を導くことは難しい



(出典) http://www.jtpa.or.jp/contents/ekimachi/pdf/ekimachi2011_I.pdf

「駅・まち」整備のあり方

- 「駅・まち」の整備について検討する際には、「徒歩や自転車で暮らせるコンパクトなまちの実現」という最も共通性の高いまちづくりの観念から、個々の駅の条件や特性に応じてブレイクダウンしていく方法をとることが重要である。



(出典) http://www.jtpa.or.jp/contents/ekimachi/pdf/ekimachi2011_I.pdf

「道の駅」

機能：①休憩・②情報発信・③地域連携
(地域のふれあいの場、地域の顔)



JR九州：「九州 DREAM STATION」の事例

- 用途：商店、カフェ、コミュニティスペース（勉強や打ち合わせなど）、バー（地酒）
- 機能：商品販売（商店と連携）、観光案内・物販（土産物）、音楽ライブ
- 運営主体：民間、NPO、DMO
- 設備：wi-fi
- 営業時間：夜も（飲食・音楽）

「トイレと駅が地域自慢の“名所”」

(出典) 田中輝美『ローカル鉄道という希望』河出書房新社、2016年

- 佐伯氏（当時**74**歳）→副社長に就任
- 「トイレ・プロジェクト」
- 法華口駅に、住民寄付とボランティアによる第1号のトイレが完成
- 寄付が寄付を呼ぶ好循環
- 各駅の地元でも
- 「ステーションマスター」の活動
- ボランティアの駅長を任命
- 法華口駅を社会福祉法人のオーナーが自己資金でリノベーションしパン工房をオープン →パン工房の責任者でステーションマスターの女性のおもてなしが話題を呼ぶ
- 播磨下里駅は東大阪市から通うお坊さんで、「下里庵」を開催 など
- **駅がにぎわいの拠点に**
- 佐伯氏「補助金や助成金に頼らず、自分たちでできることは自分たちで行うことこそ地方再生の原点ではないか」

JR四国の予讃線・高德線の4駅の研究から

(出典) 田井康平「地域住民主体の無人化駅の駅舎活用による地域活性化に関する研究」2018年度

- 研究対象の4駅（無人化駅）
 - 屋島駅
 - ・ 券売窓口 → 地域振興スペース
 - ・ 駅売店跡地 → 観光案内所
 - 豊浜駅
 - ・ 駅売店跡地 → ひめカフェ
 - 菊間駅
 - ・ 券売窓口 → ふれあいステーションきくま
 - ・ 駅事務室 → FMスタジオ
 - 下灘駅
 - ・ 駅ノート設置、花壇とベンチの整備、清掃
- 分析
 - ・ 駅に活用者が常駐していること
 - ・ 活用スペースに幅広い層の利用者が集まること
 - ・ 活用スペースの開放頻度は多くすること
 - ・ 利用者の行為が行き過ぎないように管理すること
- 結論
 - ・ 活用スペースによって列車の発着時刻に関係なく、駅に人が集まり交流。地域住民交流の拠点としての機能は、有人駅時代には存在していなかった。
 - ・ 鉄道利用者が減少する中でも、駅に訪れる人は維持され、駅舎が地域住民交流の拠点となることができる。

無人駅待合室を人の輪広がる「図書館」に 若者ら企画、推し本持ち寄り貸し出しへ J R 香住駅（神戸新聞2022/11/18）

- 昨年10月に無人化されたJR香住駅（兵庫県香美町香住区七日市）の待合室にある壁一面の本棚を、「図書館」として使うプロジェクトが19日から始まる。参加者がえりすぐりの1冊を持ち寄り、駅の利用客に貸し出す試みだ。（長谷部崇）
- 待合室は昨年8～10月、町が約1400万円かけて改修し、無人駅化の2週間後にオープンした。内装を木目調で統一。窓に面したカウンター（8席）や円卓4台を備え、無料Wi-Fiを利用できる。
- 目を引くのが、西側の壁一面に設けられた本棚（高さ3メートル、幅4メートル）だが、これまでは一部の棚に子ども向けの本が置かれているだけだった。



（出典）無人駅待合室を人の輪広がる「図書館」に 若者ら企画、推し本持ち寄り貸し出しへ JR 香住駅 (msn.com)

赤碕らしい駅・まちとは？ ～SDGSな駅・まち～

- どんな駅・まちにしたいか ハード面・ソフト面
- オープンまでのプロセス
- イニシャル（費用など）
- ランニング（運営・経営主体）
- サポート体制
- 住民参画
- 「関係人口」
- クラウドファンディング など